

# 全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」の取組みについて

北九州市 環境局  
計画課長 佐藤 保明

## 全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 1

カンパスシール導入の経緯

平成18年7月の家庭ごみ収集制度見直しで  
一層のごみの減量化・資源化を達成



更なるごみの発生抑制(リデュース)  
を推進するため

レジ袋削減に取り組むことに  
(平成18年12月開始)

## 全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 2

カンパスシールの仕組み

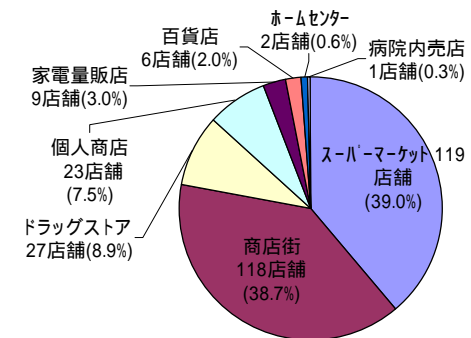
カンパスシール参加店でお買い物のとき、  
レジ袋を断ると、ポイントシールがもらえます。  
20ポイント集めると、参加店共通の50円割引券に!!!



北九州市内で1年間に使用されるレジ袋の枚数は、約3億枚。  
200リットル入りのドラム缶2万8千本もの石油が原料として使われています。

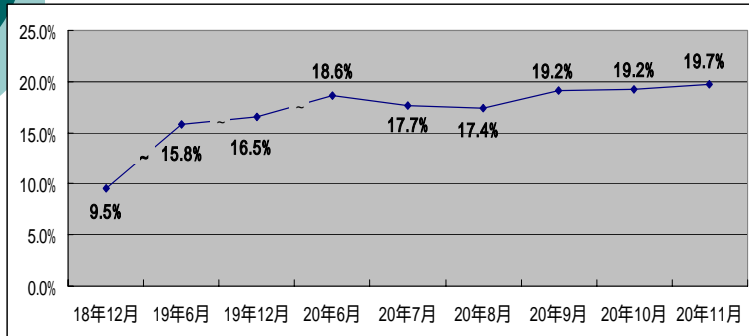
## 全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 3

参加状況(平成20年11月現在)参加店舗305店舗



全市共通ノーレジ袋ポイント「カンパスシール」事業 - 4

レジ袋お断り率(シール発行枚数 / レジ通過客数)



スーパーマーケットのお断り率平均は22.1% (H20.11月度)

全市共通ノーレジ袋ポイント事業「カンパスシール」 - 5

カンパスシール事業の効果

平成20年11月までに約3,000万枚のシールを参加店が購入。  
すべて発行(使用)された場合、3,000万枚以上のレジ袋を削減。

CO<sub>2</sub>  
約1,800トン  
(60g × 3,000万枚)  
削減

約13万本からなる156万㎡の杉の森林が  
1年間にCO<sub>2</sub>を吸収する量に相当。

東京ドーム(約5万㎡)約31個分の広さ



杉1本の年間CO<sub>2</sub>吸収量14kg、森林における杉1本当たりの平均占有面積12㎡として算出。

レジ袋1枚で60gのCO<sub>2</sub>の発生を抑制と換算

全市共通ノーレジ袋ポイント「カンパスシール」事業 - 6

レジ袋削減以外でのシール活用例

植樹会や清掃活動の参加者への配布



省エネ家電( )、蛍光ランプ購入者への配布  
(統一省エネラベルの星の数に応じて)

環境関連イベントでの  
環境活動者への配布